

## メッシュシート物性表



品 名： OSKウルトラクリアメッシュ

色 ： クリア

材 質： ポリプロピレン

質 量： 50 (g/m<sup>2</sup>)

測定値：

	タ テ	ヨ コ
(1)引張強度 (N/3cm)	290	170
(2)伸度 (%)	12	23
(3)引裂強度 (N)	120	140
(4)充実率 (%)	70	

### 試験方法

(1)，(2) JIS L 1096 A法（ラベルドストリップ法）に準拠

試料巾： 3cm                      つかみ間隔： 20cm

引張スピード： 10cm/min

(3)， JIS L 1096 C法（トラペゾイド法）に準拠

※本表に示した数値は当社での測定値の代表的な値であり、保証値ではありません。  
本材料使用上の目安としてお取り扱い下さい。

## 安全データシート (SDS)

作成・改訂：2021 年 10 月 21 日

## 1. 製品及び会社情報

化学品名称	
製品名	OSKウルトラクリアメッシュ
推奨用途及び使用上の制限	産業資材用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	分類基準に該当しない。
危険性	本製品は危険物に該当しないが、指定数量(3,000Kg)以上では「指定可燃物合成樹脂類その他のもの」に該当するため、火気注意のこと。
有害性	使用される原料の有害性は報告されていない。 有害性はないと思われる。
環境影響	野外に露出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や露出には注意を要す。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
組成及び成分情報	

化学物質名	含有量 (wt%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号		CASNo
			化審法	安衛法	
ポリプロピレン	73.0～76.0	(C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> ) <sub>x</sub>	6-402	整理番号なし	9003-07-0
ブテン・エテン・プロピレン重合物	16.0～18.0	(C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> . C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> . C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> ) <sub>x</sub>	6-1523	整理番号なし	25895-47-0
難燃剤	1.5～ 2.5	—	登録有り	整理番号なし	有り
その他	3.5～ 6.5	—	—	—	—

化学物質管理促進法 (PRT法)				労働安全衛生法		
種別	号	指定化学物質名	含有量 (wt%)	CAS No.	通知対象物質名	含有量 (wt%)
該当しない				該当しない		

## 4. 応急措置

	製品形状がシート状であり、通常使用の場合は該当しないが、加工により粉砕等を行った場合は以下の処置を行う。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水と石けんで洗うこと。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。

**飲み込んだ場合**

口をすすぎ気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。

**5. 火災時の措置****消火剤**

水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂等

**使ってはならない消火剤**

棒状注水

**特有の危険有害**

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

**特有の消火方法**

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
初期の火災には水（霧状水）、粉末消火器などを用いる。  
大規模火災の時は、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。  
周囲の設備などに散水して冷却する。

**消火を行う者の保護**

移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。  
一酸化炭素及び二酸化炭素や黒煙等が発生するので、防火服等に加え防毒マスクを着用することが望ましい。  
風上から消火する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意**

作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護処置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
溶融物が付着した場合は、大量の水で冷却し、医師の診断を受けること。  
外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。

**環境に対する注意**

付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除くこと。  
環境中に放出してはならない。

**回収**

掃き集め空容器等に回収し、指定の廃棄物処分法にて処分する。

**7. 取り扱い及び保管上の注意****技術的対策**

『8. 暴露防止及び保護処置』に記載の設備的対策を行い、保護具を着用する。

**取扱上の注意**

着火源に近づけない。  
直射日光を避け換気の良い屋内で保管する。

**保管上の注意**

保管場所周辺では火気厳禁とする。  
強酸化剤（ハロゲン、過氧化物等）の近くには保管しない。

**8. 暴露防止及び保護措置****管理濃度**

設定されていない。

**許容濃度**

設定されていない。

**設備対策**

粉じん又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。

**呼吸用保護具**

装置等に静電気防止処置を行う。  
粉塵が発生する加工を伴う場合は防塵マスク、溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は有機ガスマスクを着用する。

**保護手袋**

軍手の着用が好ましい。

**保護眼鏡**

粉塵、蒸気、ガス等が発生する場合は安全眼鏡を使用する。

**保護衣**

長袖作業着が好ましい。

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状態**

固体（ポリプロピレン製糸条織物）

**臭い**

ほとんど無臭

**融点**

製品としての情報なし

沸点	製品としての情報なし
引火点	製品としての情報なし
爆発限界	製品としての情報なし
蒸気圧・蒸気密度	製品としての情報なし
揮発性	製品としての情報なし
比重	製品としての情報なし
溶解度	水に不溶
その他溶媒	熱キシレン等の芳香族溶媒に可溶

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の実扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の実扱い条件下では危険有害反応を起こさない。 燃焼により、一酸化炭素(CO)、NOX等の有害ガスが発生等が発生する恐れがある。
避けるべき条件	高温下、急激な温度変化

## 11. 有害性情報

製品の有害情報	製品としての情報なし
急性毒性	製品としての情報なし
皮膚腐食性・刺激性	製品としての情報なし
目に対する重篤な損傷	
または眼刺激性	製品としての情報なし
呼吸器感作性・皮膚感作性	製品としての情報なし
生殖細胞変異原性	製品としての情報なし
発がん性	ポリブチレンとして、IARCの発がん性区分でグループ3に分類されている。 但し、ヒトに対する発がん性について分類できない。
生殖毒性	製品としての情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	製品としての情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	製品としての情報なし
吸引性呼吸器有害性	製品としての情報なし

## 12. 環境影響情報

製品の環境影響情報	製品としての情報なし
生態毒性	製品としての情報なし 但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での 投棄、放出はしない。
残留性・分解性	製品としての情報なし ポリブチレンは環境中で長期間分解しない。
生体蓄積性	製品としての情報なし
土壌中の移動性	製品としての情報なし
水層有害性	製品としての情報なし
成分の環境有害性情報	製品としての情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の 上処理を委託する。
-------	---

**汚染容器及び包装**

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**1 4. 輸送上の注意****国際規制**

国連番号 該当しない

海洋汚染物質 該当しない

MARPOL 73/78 付属書 II および IBCコードによりばら積み輸送海洋汚染物質

該当しない

航空規制情報 該当しない

**国内規制**

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

陸上規制情報 消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

緊急時応急処置指針番号

なし

その他

水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。  
包装を傷付けたり、破袋させるような乱暴な取扱いは厳禁。

**1 5. 適用法令**

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

消防法

指定可燃物(合成樹脂類3,000kg)

消防法施行規則第4条-3に適合、防災物品として登録済み

化学物質管理促進法

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化審法

該当しない

**1 6. その他情報**

参考文献

JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

JIS Z 7252:2014「GHSに基づく化学物質等の分類方法」

GHS Ver. 4 (UN) 2011. 7

独立行政法人 製品評価技術機構のGHS分類

化審法データベース(J-CHECK)

原材料メーカーの安全データシート(SDS)

その他

本SDSは、JIS Z 7253:2012に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分でない可能性がありますので、取扱にはご注意ください。

本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更して下さい。

また、注意事項等は通常の取扱を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全策を実施の上、お取り扱い願います。